

STEP1

[詳細を見る >](#)

第1回若手パワーアップ塾（10/14、木村亮先生）にご参加いただきまして、ありがとうございました。若手パワーアップ小委員会では、土木学会全体の講習会の品質向上のための制度づくりを考えています。つきましては、アンケートにご協力いただけますよう、お願い致します。

STEP2

[詳細を見る >](#)

1. 質問者の属性について1-1. ご所属を教えてください。

1 建設業		12
2 建設コンサルタント		2
3 JR		1
4 その他		1
5 その他		0

STEP3

[詳細を見る >](#)

1-2. 年齢を教えてください。

1 35-39歳		6
2 40-44歳		5
3 45-49歳		2
4 25-29歳		1
5 その他		2

STEP4

[詳細を見る >](#)

2. 参加動機について2-1. 若手パワーアップ塾に参加されたきっかけを教えてください。

1 会社からの指示		9
2 若手パワーアップ小委員会の委員である		6
3 興味があった		2
4 オブザーバーとして		1
5 その他		0

STEP5

[詳細を見る >](#)

2-2. 若手パワーアップ塾に対する熱意を教えてください。

av.
16

十分やる気がある やる気がある 普通 あまりやる気がない 全くやる気がない

STEP6

[詳細を見る >](#)

3. 講義について3-1. 講義内容について教えてください。

av.
12

大変有意義だった 有意義だった どちらでもない あまり意味がなかった 全く意味がなかった

STEP7

[詳細を見る >](#)

3-2. 若手パワーアップ塾でやってほしい講義内容、および若手パワーアップ塾にかかわらず「これなら参加したいと思う」講義内容を教えてください。

STEP8

[詳細を見る >](#)

3-3. その他、講義内容に関するご意見・ご要望があれば教えてください。

STEP9

[詳細を見る >](#)

4. ディスカッションについて4-1. ディスカッション量について教えてください。



もっと討議したかった

ちょうどよかった

十分すぎた

STEP10

[詳細を見る >](#)

4-2. ディスカッション形式について教えてください。

1 対面形式（今回）がよい	<div style="width: 75%;"></div>	9
2 グループワーク形式がよい	<div style="width: 50%;"></div>	6
3 その他	<div style="width: 10%;"></div>	1

STEP11

[詳細を見る >](#)

4-2で「その他」と答えた方は、具体的なディスカッション形式をお答えください。

STEP12

[詳細を見る >](#)

4-3. その他、ディスカッションに関するご意見・ご要望があれば教えてください。

STEP13

[詳細を見る >](#)

5. 懇親会について5-1. 懇親会の開催について教えてください。



是非やってほしい できればやってほしい どちらでもよい ないほうがよい なくしてほしい

STEP14

[詳細を見る >](#)

5-2. 懇親会に関するご意見・ご要望があれば教えてください。

STEP15

[詳細を見る >](#)

6. その他6-1. その他、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

STEP16

[詳細を見る >](#)

ご協力ありがとうございました。

若手パワーアップ塾でやってほしい講義内容
土木史などの予備知識に関する講義（実務ではあまり学習する機会がないので）
経営、経理など土木に関係ない内容
土木分野における先人の方々の功績紹介や、そこから今後の若手が見習うべき思想などについて話し合う場があればありがたいと思います。
交流会 技術や業界の将来について。我々の立場で何ができるかのヒントとなる場。
土木工事に係る企業者の経営層や役員の講義（発注者から土木業界若手への要望、メッセージなど）。異業種同年代のベンチャー起業者の講義（起業の熱意を聞いて、我々の刺激になれば）。
「土木」が人々の生活を支えていることが感じられる講義
様々な方に講義をお願いされては如何でしょうか？その1つとして、土木界の先輩の話もいいと思います。小野元会長、金井大林前副社長、井手前清水常務、佐藤元事務次官、大田熊谷組相談役、の方々であれば、小生(熊谷組 山崎)から声をかけてもいいです。遠慮なく言って下さい。
自分は設計部に所属していますが、躯体設計に限らず、幅広い内容、例えば入札制度、海外事業、営業などの異分野（土木ではありませんけど）に関する講演や議論に興味があります。
特に希望はありません。
・土木にまつわる時事問題に対する積極的な提言 ・若手（仕事を覚える段階）、中堅（仕事と土木業界全体を俯瞰できる段階）に応じた講義
普段は聞けない先生の講義（技術開発への熱意が湧くようなもの） 他分野での話題 参加者での問題解決のような自分たちで考えるもの(難しいか)
新規事業について
今後の日本を考えた上で、求められる土木技術者像など
現場見学もあれば良いと思う。ただし、現場見学は受入側に負担を掛けてしまうので、日建連や協会の現場見学に参加するのも一つの方法と思われる。
・土木本部長講義 ・外から見た土木講義
海外の工事の契約にあたり気をつけることは何か？

「これなら参加したいと思う」講義内容
ライフワークバランスや業務効率化に関する講義
経営、経理など土木に関係ない内容、資格取得講座
・東京外環道など、特殊な技術を要する超大型工事の現場見学会 ・発注者、コンサル、施工者それぞれの若手による本音トーク（悩み、愚痴など）
業界の未来展望。今後取り組むべきヒントを与えてくれる。すいません抽象的で
同上
「土木」が人々の生活を支えていることが感じられる講義
上記など。
地方自治体が建設会社、建設コンサルタントに期待する仕事に関して。
どんな講義でも参加したいと思います。
・所属組織を超えた本音トーク ・同業他社との実態本音トーク
現地見学の講義 せひ、地方でも開催して欲しい。（例えば支部を巡回するとか）
大型工事の現場見学
今後の日本はどうなっていくのかなど
建設業に関する成功談・失敗談 建設業以外の人の成功談・失敗談
・地方創生と土木講義 ・インフラ投資ビジネス講義
私は法律や契約に興味があるので、土木工学科出身だけど、弁護士に転職した方や、海外の土木工事の契約書の作成の経験がある方の講義。

ディスカッションに関するご意見・ご要望	
より多くの人が発言できる方法がよい。★	
我々参加者がお互いに意見・感想を述べ合う場面があった方が盛り上がると思います。★	
第2回以降は、もっと活発な意見交換ができるでしょう。	★:第2回以降、名札を導入します。
基本は講義と議論でよいと思いますが、たまにグループワークする会があってもいいのではないかと思います。★	
メンバー固定ですが、誰か分からないところがあるので、名札を導入してはどうでしょうか？(懇親会含めて)★	
・討議時間が短い・若手同士で意見交換する場も設けてほしい ★	
しばらくは対面形式とし、メンバーが慣れた頃からグループワーク形式も取り入れれば良いと思う。★	
各委員がトークしたいテーマをプレゼンし、面白そうなテーマでディスカッションする。(アクトークの企画みたいに)	

懇親会に関するご意見・ご要望	
二次会、三次会、どこへでも付いて行きます。	
懇親会は是非毎回開催して欲しいと思います。形式には全く拘りません。	
今回の天野さん、PTAの参加が怪しくてすいません。3回目以降、是非参加者のPTAの役割も果たしたいと心しています。前回の中華、リーズナブルで店固定でも良いと思いました。	
あまり強制的なものではなく基本的には毎回開催して、参加可能な人が参加すればよいと思います。	
席替えとか全員が知り合いになれるように工夫するのいいと思います。	
講師の方が席を回ってくれたのは、非常によかったですと思います。	
今回は出席していませんが、若手が話しやすい雰囲気だといいな…と思います。	
懇親会の途中で、席替えして入れ替えるのは大変いいと思います。	
ディスカッションの場ではなかなか聞きにくいことや参加メンバーの意見も聞くことができるので、懇親会は重要だと思います。	
立食パーティ形式の方が、移動がしやすく色々な方の意見が聞けるので、ありがたいです。	

その他、ご意見・ご要望
よい機会と思っております、この場を利用してみんなでいろいろとチャレンジしていければと思います。今後ともよろしくお願ひします。
<u>研修合宿の開催を希望します。</u>
委員会ではないので報告書を作成する必要はないかもしれませんが、何かしらの形で <u>成果のとりまとめ</u> が必要になるのでしょうか？
講師に誘導されるのではなく、若手から積極的に提言し、アドバイスを貰う場にしたいですね！引き続きよろしくお願ひいたします。
各社の皆さまは、自分の仕事及び上司から与えられた仕事をしていると思いますので、この会が重荷にならないような、気軽に参加できる会となるよう、希望いたします。いつも幹事の方、お疲れ様でした。
是非、継続できる会にして行きましょう。
参加メンバー全員が共有できるビジョンみたいなものがあると参加する目的意識が高まってくのではないかと考えます。★
★：若手パワーアップ塾の実施概要を作成し、HPに掲載しました。

